

インタークーラキット

取付説明書



取付けは必ず専門業者に依頼してください。

取扱説明書を先に読んでから作業を行なってください。

本書はご使用前に必ずお読みください。

本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

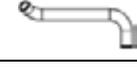
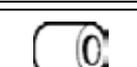
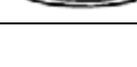
本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。
万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	車種別インタークーラキット
用 途	自動車専用部品
コ ー ド	13001-AH002
取付説明書品番	E04251-H51012-00 Ver.3-3.03
整備要領書品番	60SFE00A / 60SFE00B / 60SFE10 / 60SFE21
メーカー車種	ホンダ オデッセイ UA-RB1 / DBA-RB1 / LA-RB1 / ABA-RB1
エンジン型式	K24A
年 式	2003年10月～
備 考	【別途必要部品】 ・ボルトオンターボキット(コード 11001-AH004, 11001-AH005)

改訂の記録

改訂	日 付	記 載 変 更 内 容
3-3.01	2008/04	初版
3-3.02	2008/06	パーツリスト追加・記載事項追記
3-3.03	2008/09	パーツリスト追加・記載事項追記

パーツリスト

連番	コード	品名	数量	形状	備考
1	G17910-H51010-00	インタークーラコアAssy	1		
2	G17950-H51010-00	インレットパイプ 1	1		
3	G17951-H51020-00	インレットパイプ 2	1		
4	G17951-H51030-00	インレットパイプ 3	1		バフ無し
5	G17971-H51020-00	アウトレットパイプ 1	1		バフ無し
6	G17971-H51030-00	アウトレットパイプ 2	1		バフ無し
7	G17971-H51040-00	アウトレットパイプ 3	1		
8	G17971-H51010-00	アウトレットパイプ 4	1		
9	G17921-H51010-00	インタークーラコアステー 1	1		
10	G17921-H51020-00	インタークーラコアステー 2	2		
11	G17981-H51010-00	アウトレットパイプステー	1		
12	G17714-K00070-00	汎用ステー 50	1		
13	G09971-H51020-00	カラー	2		
14	90400-083100	シリコンホース 50	5		L=70
15	90400-102100	シリコンホース 50 クッション付き	2		L=70
16	G09115-K00030-00	シリコンホース 60- 70	1		
17	18005-AK008	ホースバンド#36	2		
18	18005-AK006	ホースバンド#28	14		
19		ボルトM6 L=15	4		
20		ナットM6	2		
21		スプリングワッシャM6用	5		
22		プレーンワッシャM6用 大径	7		

パーツリスト

連番	コード	品名	数量	形状	備考
23		ボルトM8 L=15	3		
24		スプリングワッシャM8用	3		
25		プレーンワッシャM8用	3		
26	1806-SA007	スリーウェイ	1		10-4-10
27	18006-AK016	ジョイントパイプ 6- 4	1		
28	1801-SA033	バキュームホース 4	1		L=1000
29	18005-AK001	ホースバンド#4	2		
30	14999-AK019	ゴムキャップ 6	1		
31		タイラップ(大)	5		
32	15719-037100	スポンジシート	2		
33	91710-008100	Eリング	1		
34	G11291-H51020-00	エンジンカバー	1		
35	G11293-H51070-00	エンジンカバーステー	1		
36		キャップボルトM6 L=20	1		
37	G82251-H64020-00	センサハーネス	1		
38	93050-002100TP	取扱説明書	1		
39	E04251-H51012-00	取付説明書	1		

パーツリスト内の部品の中には、補修パーツとして設定してある部品もありますので、別途ご購入の際は、受注センターにお問い合わせください。

受注センター

TEL : 0 5 4 4 - 2 9 - 1 2 3 4
FAX : 0 5 4 4 - 2 9 - 1 1 5 1

1. ノーマルパーツ取外し

作業を始める前に、冷却水を準備しバッテリーのマイナス端子を取外してください。
必ず整備要領書及び取扱説明書に準じて作業を行なってください。

(1) アンダカバーを取外し、フロントバンパを取外してください。(図1-1, 図1-2)

アドバイス

・フロントグリルはバンパと一緒に取外してください。

(2) プレートエアスクリーンを左右共取外してください。(図1-1, 図1-2)

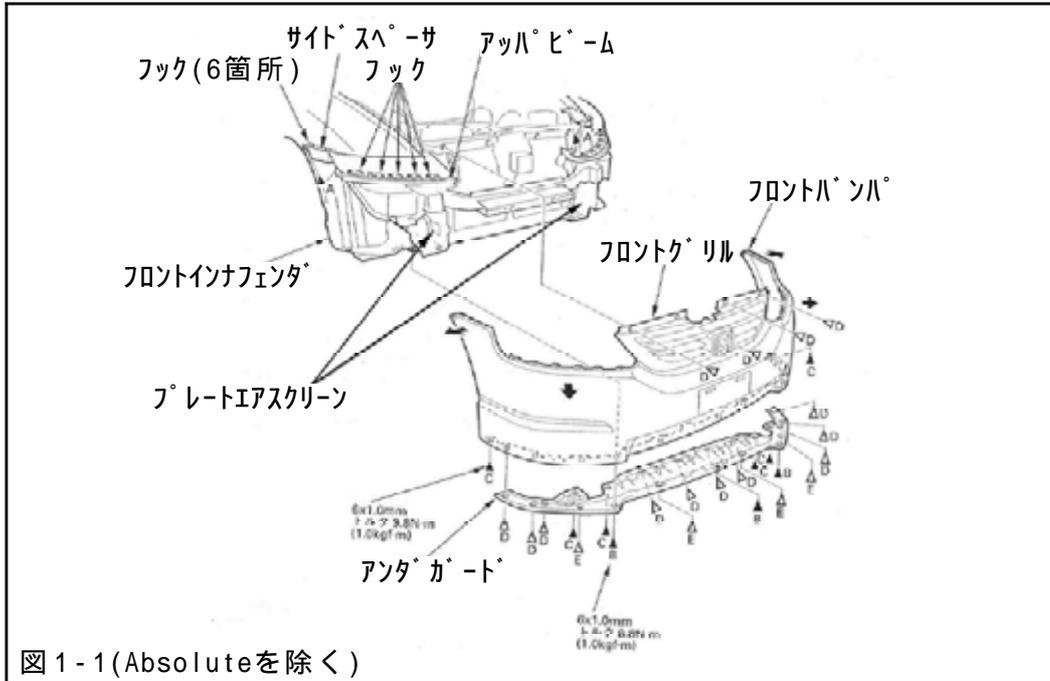


図1-1 (Absoluteを除く)

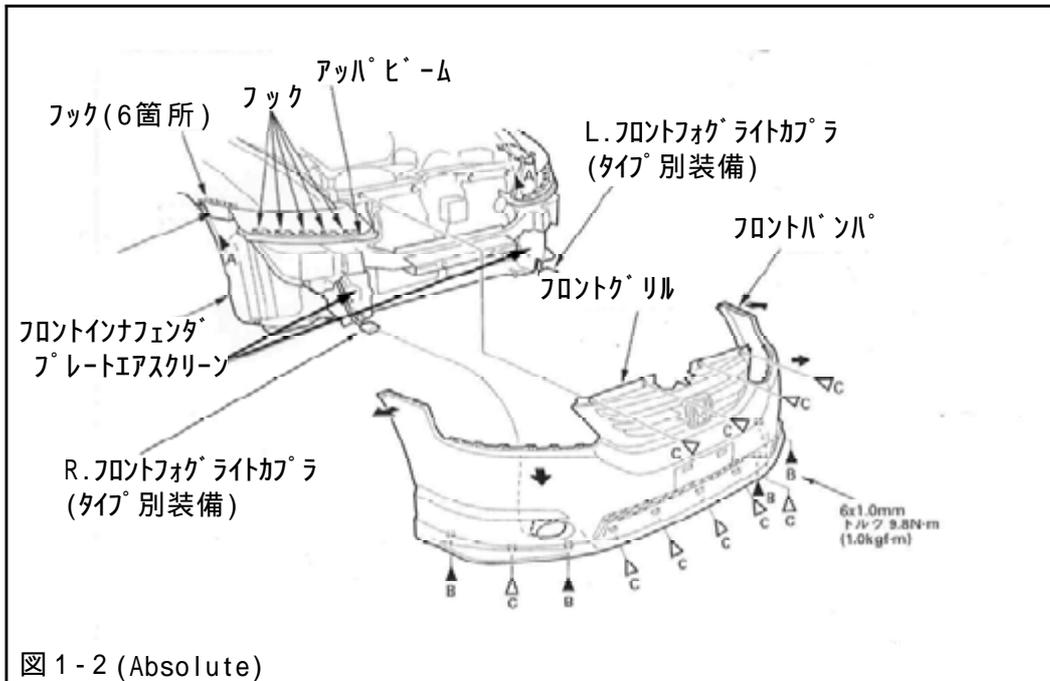


図1-2 (Absolute)

(3) ホーンを取外してください。

(4) フロントレインフォース部のワイヤハーネスをクランプから取外してください。

(5) ボンネットキャッチの下のバルクヘッドセンタステーにワイヤハーネス及びカブラが固定されている車両は取外してください。(図1-3)

アドバイス

・3.キットパーツ取付けのインタークーラパイプ取付け作業で、ハーネスの移動及び延長をします。

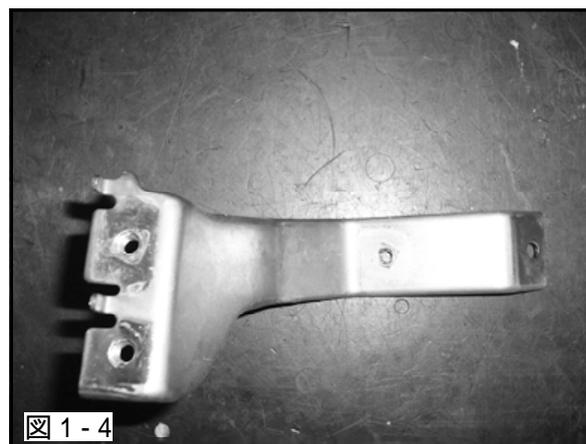
(6) バッテリーを取外してください。



(7) バッテリー台に取付けてあるエアコンパイプ固定ステーを取外してください。(図1-4)

アドバイス

・取外したエアコンパイプ固定ステーは再使用しません。





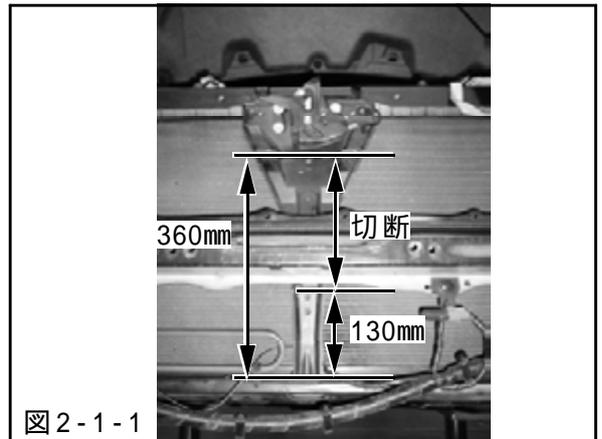
2 . ボディの加工

2 - 1 . バルクヘッドセンタステーの切断

(1)バルクヘッドセンタステーを図のように切断してください。(図2-1-1)

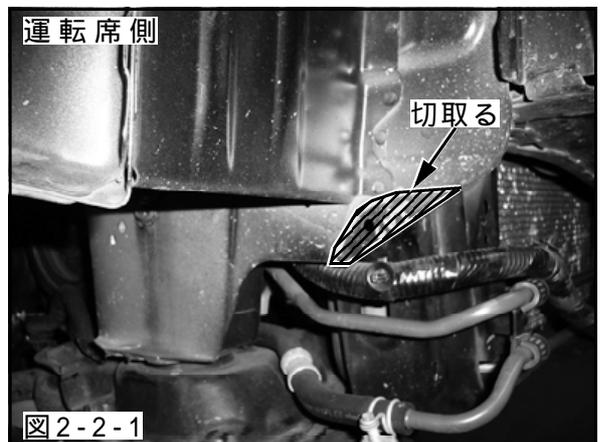
アドバイス

・背後のエアコンコンデンサを傷つけないように薄い鉄板などで保護をして作業を行なうようにしてください。



2 - 2 . レインフォースの加工

(1)レインフォースのエアガイドが付いていた付近をインタークーラパイプを通すために図のように切取り加工をしてください。
(図2-2-1(運転席側), 図2-2-2(助手席側))



2 - 3 . ボディの穴開け加工

Absoluteのみ2-3.(3),(4)の作業を行なってください。
AT車のみ2-3.(7)以降の作業を行なってください。

- (1)パワステタンクをブラケットから取外し、パワステフルードがこぼれないように適切な箇所にロープ等で固定をしてください。
- (2)パワステタンクのブラケットを取外してください。

アドバイス

・ブラケットは再使用します。

Abusoluteの場合

- (3)エアインテーク固定ステーを取外してください。
(図2-3-1)

アドバイス

・エアインテーク固定ステーは再使用しません。

- (4)サブリレーボックスを2-3.(3)で取外したエアインテーク固定ステーの位置へ移動してください。(図2-3-2)
・ボルト (純正)



- (5)図を参考にして直径65mm以上の穴をボディに開けてください。
(図2-3-3(エンジンルーム側))
(図2-3-4(右フロントタイヤ前側))

アドバイス

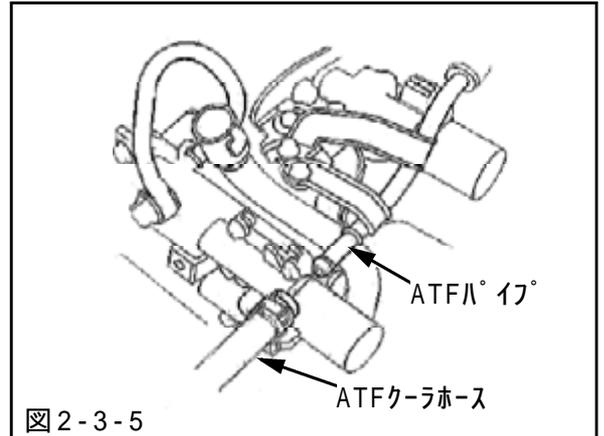
・穴開け作業でハーネスを傷つけないよう、作業を行なう前にハーネスをまとめてロープ等で固定してください。

- (6)穴空け作業後、切粉を掃除しサビないように塗料等を塗布してください。

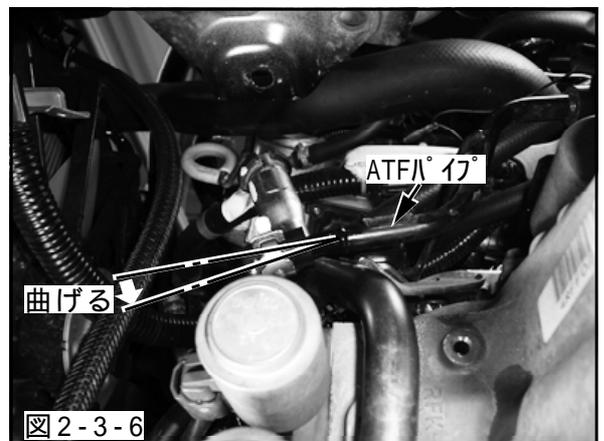


AT車は、2-3.(7)以降の作業を行なってください。

- (7)ATFクーラホースの片方を図のように取外し、ATFがこぼれないようにATFパイプとATFクーラホースに栓をしてください。(図2-3-5)



- (8)ATFクーラホースがアウトレットパイプ 3と干渉しないように、ATFパイプを図のように下側へ曲げてください。(図2-3-6)

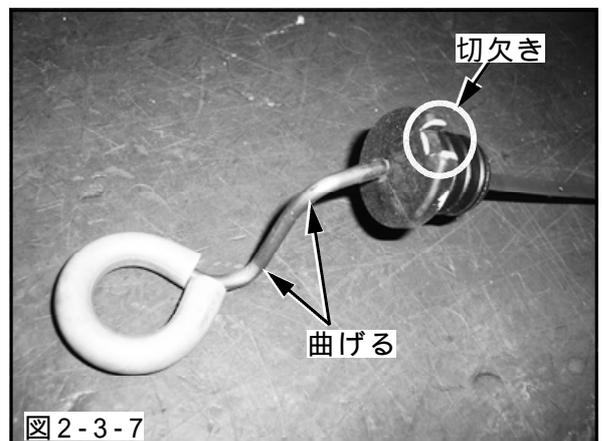


- (9)ATFクーラホースを約30mmに切断し、ATFパイプに取付けてください。

- (10)ATFレベルゲージを抜取り、アウトレットパイプ 3と干渉しないように取っ手をクランク状に曲げてください。(図2-3-7)

アドバイス

- ・切欠きと曲げる方向の位置関係に注意してください。(図2-3-7)



3 . キットパーツの取付け

⚠ 注意

本製品取付後に、キットパーツと車両とのクリアランスを確認し、クリアランスが狭い箇所には、スポンジシートを貼付け、キットパーツと車両各部が直接干渉・接触しないようにしてください。干渉・接触したまま走行を続けると、キットパーツ及び車両側部品が破損する恐れがあります。

- ・スポンジシート (P32)

3 - 1 . インタークーラスターの取付け

- (1) インタークーラスター 1, 2をインタークーラコアAssyに仮付けしてください。(図3-1-1)
- ・インタークーラコアAssy (P1×1)
 - ・インタークーラコアスター 1 (P9×1)
 - ・インタークーラコアスター 2 (P10×2)
 - ・ボルトM8 L=15 (P23×3)
 - ・スプリングワッシャM8用 (P24×3)
 - ・プレーンワッシャM8用 (P25×3)

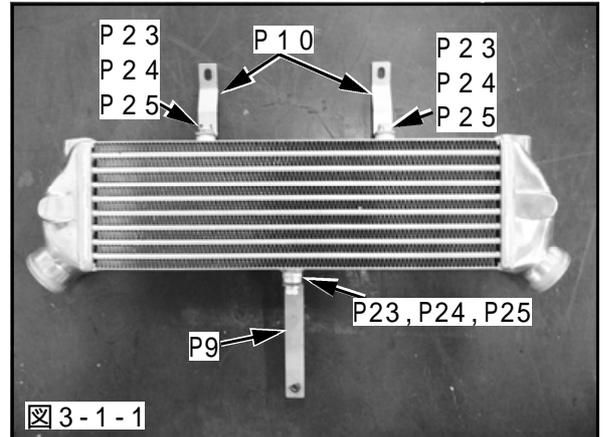


図 3-1-1

- (2) 3-1.(1)で組付けたインタークーラコアAssyをボディに仮付けしてください。(図3-1-2)
- ・ボルトM6 L=15 (P19×3)
 - ・スプリングワッシャM6用 (P21×3)
 - ・プレーンワッシャM6用 大径 (P22×3)

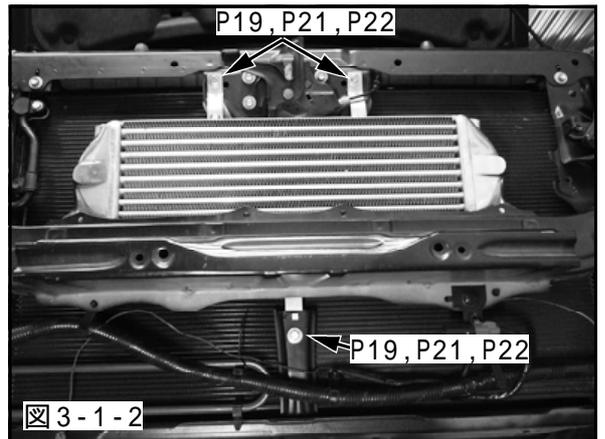


図 3-1-2

- (3) 3-1.(1), 3-1.(2)で仮付けしたボルトを均等に本締めし、インタークーラコアAssyを固定してください。

3 - 2 . インタークーラパイプの取付け

- (1) ボルトオンターボキットのチャンバパイプ 3(スロットル直前のパイプ)を取外してください。

- (2) インレットパイプ 1を図のように仮付けしてください。その際、ノーマルエンジンカバーの付いていた箇所には、カラーを下側に挟んで純正ナットを再使用して取付けてください。ターボチャージャAssy側のシリコンホース 50及びホースバンド#28は、ボルトオンターボキットのものを再使用して取付けてください。(図3-2-1)
- ・インレットパイプ 1 (P2×1)
 - ・カラー (P13×2)
 - ・シリコンホース 50 (ボルトオンターボキット付属品再使用)
 - ・ホースバンド#28 (ボルトオンターボキット付属品再使用)
 - ・ナット (純正)

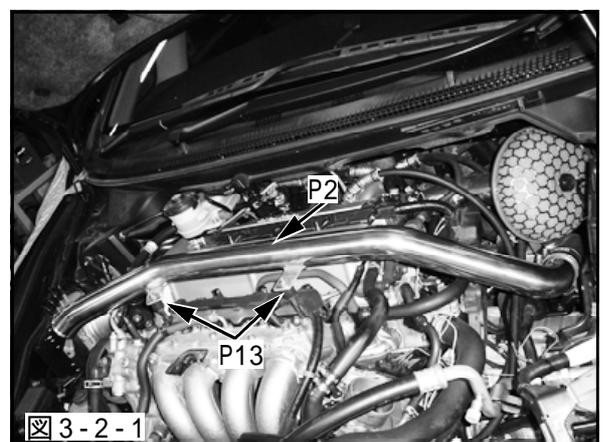


図 3-2-1

アドバイス

- ・Absolute以外の車両の場合は、インレットパイプ 1はスロットルワイヤの下側を通し、スロットルワイヤと接触する部分にスポンジシートを適切な長さに切取って貼付けてください。
- ・スポンジシート (P32)

(3) インレットパイプ 2を2-3.(4)でボディに開けた穴へ通し、インレットパイプ 1に仮付けしてください。その際、穴とインレットパイプ 2が干渉する恐れのある部分に、スポンジシートを適切な長さに切取って貼付けてください。(図3-2-2)

- ・インレットパイプ 2 (P3×1)
- ・シリコンホース 50 クッション付き (P15×1)
- ・ホースバンド#28 (P18×2)
- ・スポンジシート (P32)

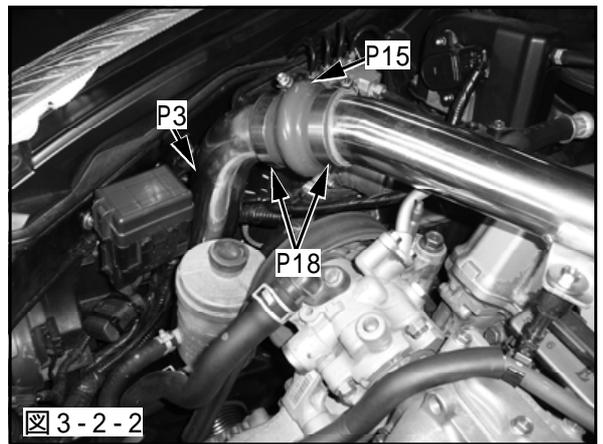


図 3-2-2

(4) インレットパイプ 3をインレットパイプ 2, インタークーラコアAssyに仮付けしてください。その際、ボディとインレットパイプ 2, 3が干渉する恐れのある部分に、スポンジシートを適切な長さに切取って貼付けてください。(図3-2-3)

- ・インレットパイプ 3 (P4×1)
- ・シリコンホース 50 (P14×2)
- ・ホースバンド#28 (P18×4)
- ・スポンジシート (P32)

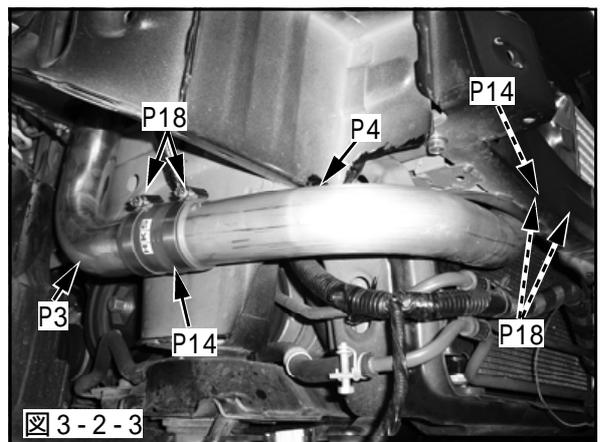


図 3-2-3

(5) アウトレットパイプ 1をインタークーラコアAssyに仮付けしてください。その際、ボディ及びハーネスとアウトレットパイプ 1が干渉する恐れのある部分に、スポンジシートを適切な長さに切取って貼付けてください。(図3-2-4)

- ・アウトレットパイプ 1 (P5×1)
- ・シリコンホース 50 (P14×1)
- ・ホースバンド#28 (P18×2)
- ・スポンジシート (P32)

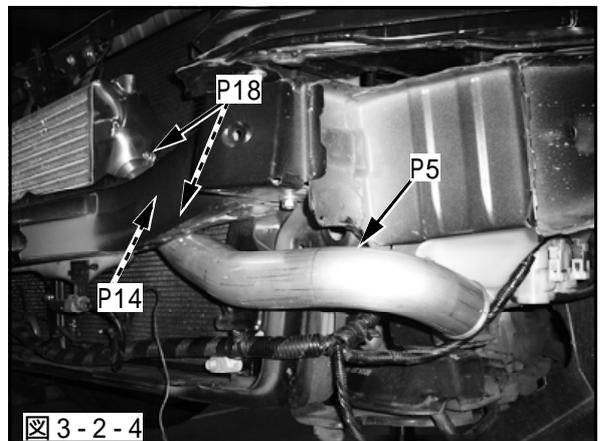


図 3-2-4

(6) アウトレットパイプステーに汎用ステー 50を組付け、ボディに仮付けしてください。(図3-2-5)

- ・アウトレットパイプステー (P11×1)
- ・汎用ステー 50 (P12×1)
- ・ボルトM6 L=15 (P19×1)
- ・ナットM6 (P20×1)
- ・スプリングワッシャM6用 (P21×1)
- ・プレーンワッシャM6用 大径 (P22×2)
- ・ボルト (純正)

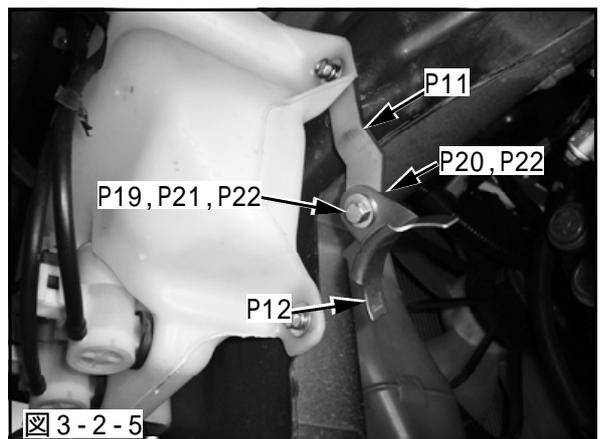
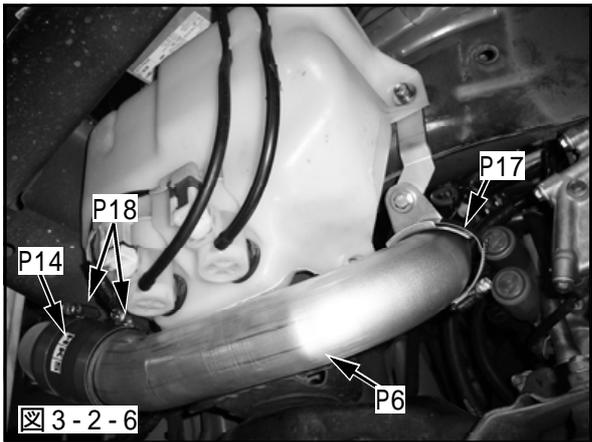


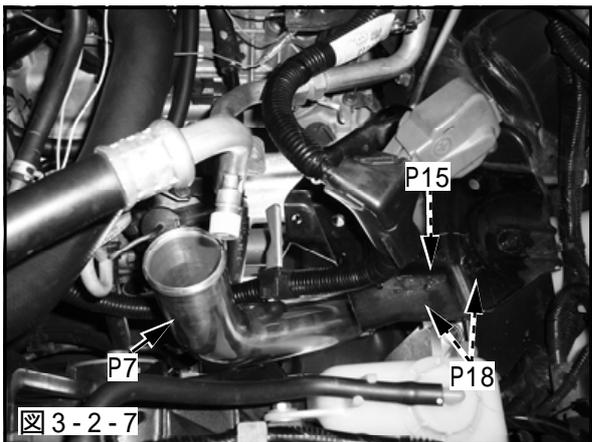
図 3-2-5

- (7) アウトレットパイプ 2をアウトレットパイプ 1に
 仮付けしてください。(図3-2-6)
 ・ アウトレットパイプ 2 (P6×1)
 ・ シリコンホース 50 (P14×1)

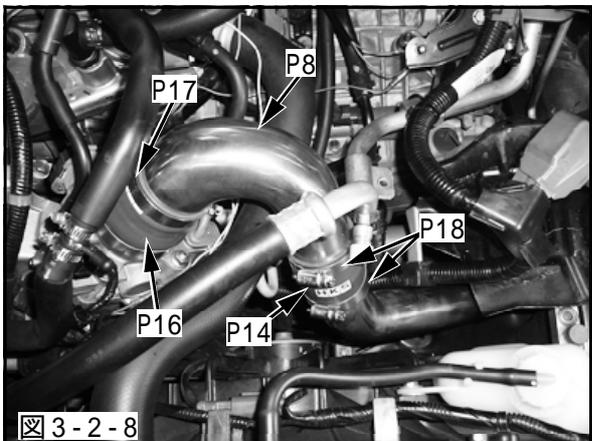


- (8) 3-2.(6)でボディに仮付けしたアウトレットパイプ
 ステーに、アウトレットパイプ 2を仮付けしてく
 ださい(図3-2-6)
 ・ ホースバンド#36 (P17×1)
 ・ ホースバンド#28 (P18×2)

- (9) アウトレットパイプ 3をアウトレットパイプ 2に
 仮付けしてください。(図3-2-7)
 ・ アウトレットパイプ 3 (P7×1)
 ・ シリコンホース 50 クッション付き (P15×1)
 ・ ホースバンド#28 (P18×2)



- (10) アウトレットパイプ 4をアウトレットパイプ 3
 及びスロトルに仮付けしてください。その際、ス
 ロトル側のホースバンドはボルトオンターボキッ
 トのものを再使用してください。(図3-2-8)
 ・ アウトレットパイプ 4 (P8×1)
 ・ シリコンホース 50 (P14×1)
 ・ シリコンホース 60- 70 (P16×1)
 ・ ホースバンド#36 (P17×1)
 ・ ホースバンド#28 (P18×2)
 ・ ホースバンド#48 (ボルトオンターボキット付属品再使用)

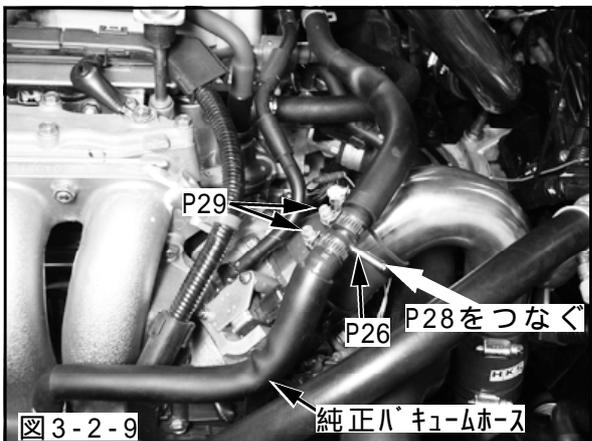


- (11) 仮付けした各パイプを干渉や無理な力がかからな
 いように調整し本締めしてください。
 (12) アウトレットパイプステーを本締めしてください。

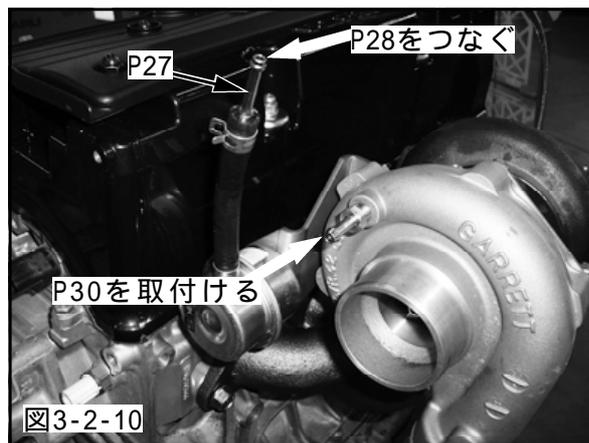
- (13) 純正のバキュームホース 10を図のように切断し
 てください。(図3-2-9)

- (14) 3-2.(13)で切断したバキュームホース 10にスリー
 ウェイに取付けてください。(図3-2-9)
 ・ スリーウェイ (P26×1)
 ・ ホースバンド#4 (P29×2)

- (15) 3-2.(14)でバキュームホース 10に取付けたスリー
 ウェイにバキュームホース 4を取付けてください。
 ・ バキュームホース 4 (P28×1)



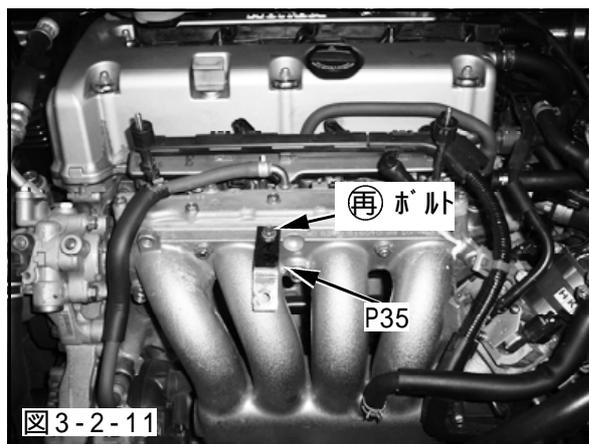
- (16) ターボチャージャーAssyのコンプレッサとアクチュエータをつないでいるホース 6をコンプレッサ側で抜き、ニップルにゴムキャップ 6を取付けてください。(図3-2-10)
- ・ゴムキャップ 6 (P30×1)



- (17) 3-2.(16)で抜いたホース 6に、ジョイントパイプ 6-4を差込み3-2.(15)でスリーウェイに取付けたバキュームホース 4をつないでください。
- ・ジョイントパイプ 6-4 (P27×1)
 - ・ホース 6 (ボルトオンターボキット付属品)
(3-2.(16)で取外したもの)

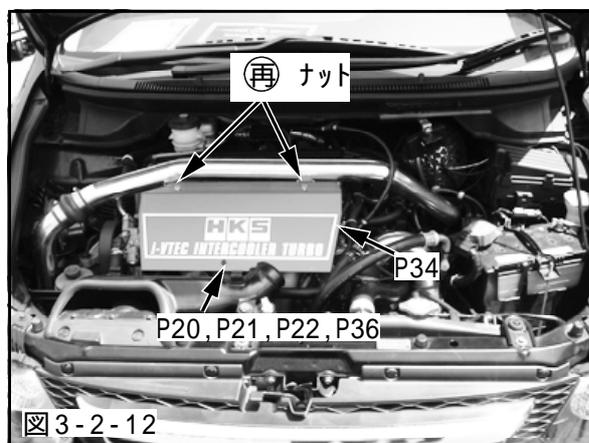
- (18) 3-2.(2)でインレットパイプ 1を取付ける際に使用している純正ナット2個を取外してください。

- (19) 純正ステーを取外し、エンジンカバーステーに付替えてください。(図3-2-11)
- ・エンジンカバーステー (P35×1)
 - ・ボルト (純正)



- (20) エンジンカバーを図のように取付けてください。(図3-2-12)

- ・エンジンカバー (P34×1)
- ・キャップボルトM6 L=20 (P36×1)
- ・ナットM6 (P20×1)
- ・スプリングワッシャM6用 (P21×1)
- ・プレーンワッシャM6用 (P22×2)
- ・ナット (純正)



- (21) 1.(5)で取外したハーネスを切断し、キットのセンサハーネスの配線及びオスギボシ,メスギボシで延長をしてください。
- ・センサハーネス (P37×1)

アドバイス

- ・配線は適切な長さで切断し、オスギボシ,メスギボシを確実にカシメてください。
- ・オスギボシ,メスギボシにはスリーブを被せ、確実に絶縁してください。

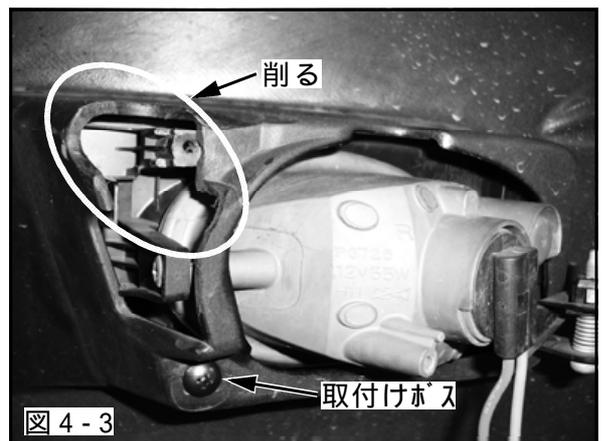
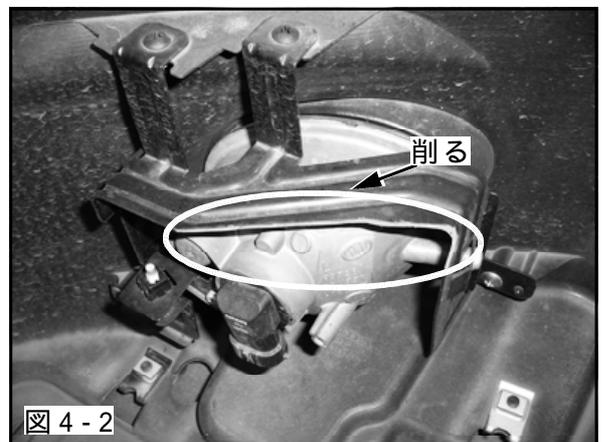
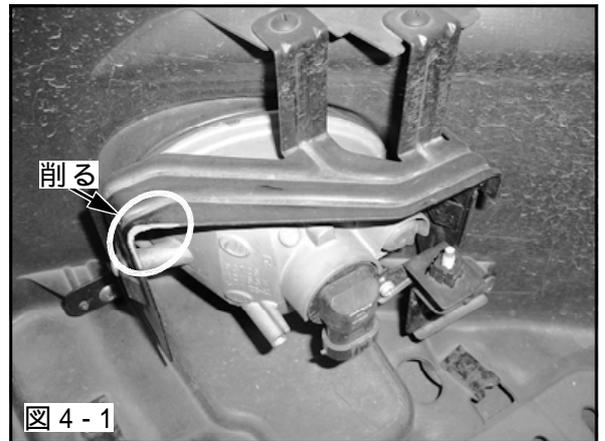
- (22) 延長したハーネスは、動かないように適切な位置に固定してください。

4 . ノーマルパーツの取付け

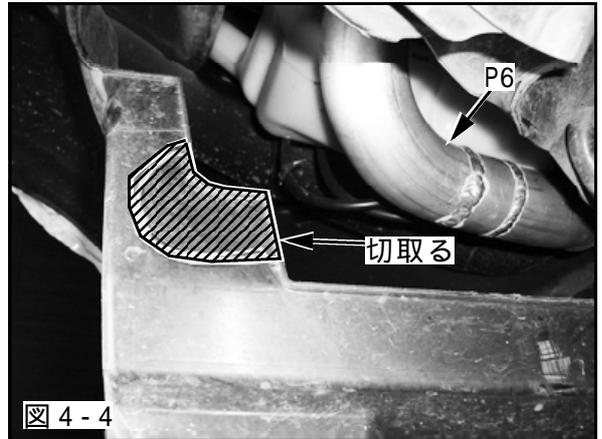
- (1)ホーンを元の位置に取付けてください。
- (2)フロントバンパを仮付けしてください。
- (3)フロントバンパ内のフォグランプがインレットパイプ 3及びアウトレットパイプ 1と干渉する部分を削り取ってください。(図4-1,図4-2,図4-3)

アドバイス

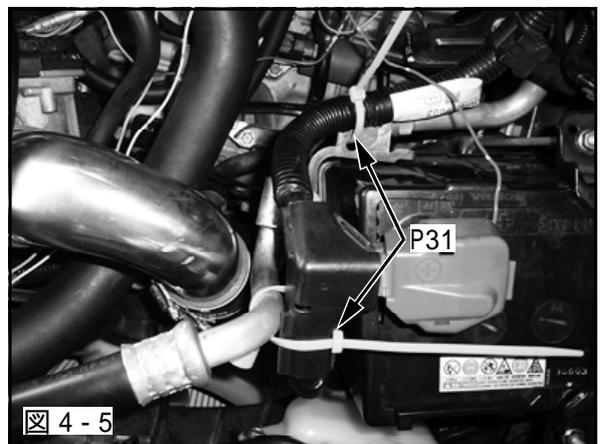
- ・年式及びグレードによりバンパ形状やフォグランプ形状が異なるため、干渉する車両のみ作業を行なってください。
- ・後期アブソルート車(2006年03月以降)でインレットパイプ 3とフォグランプの干渉を避けるために、上側取付けボスを削り取った場合は、下側取付けボスを利用してフォグランプを固定してください。(図4-3)



- (4)フロントグリルがインタークーラコアステー 2と干渉する部分を削り取ってください。
- (5)フロントバンパ及びフロントグリルが干渉しないことを確認し、バンパAssyを取付けてください。
クリアランスが狭い箇所には、スポンジシートを適切な長さに切取って貼付けてください。
・スポンジシート (P32)
- (6)インナフェンダとアウトレットパイプ 2が干渉する部分を切取ってください。(図4-4)
- (7)インナフェンダ及びアンダカバーを取付けてください。
- (8)バッテリーを取付け、プラス端子及びマイナス端子を接続してください。



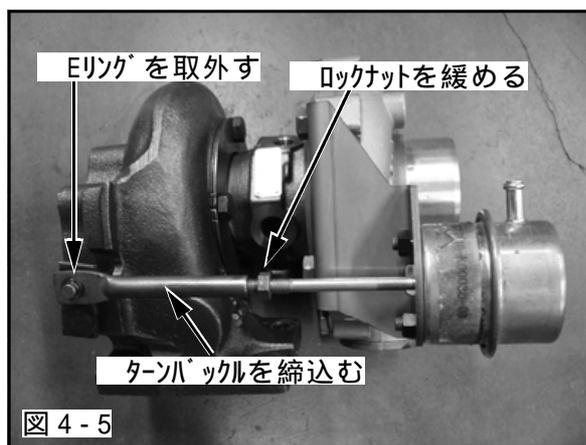
- (9)1. (5)で取外したエアコンパイプをバッテリーのプラス端子のプラスチックカバーに固定してください。
(図4-5)
・タイラップ(大) (P31)
- (10)インタークーラパイプとボディ、及び純正ホースやパイプなどと干渉する恐れのある部分にスポンジシートを適切な大きさに切取って貼付けてください。
・スポンジシート (P32)
- (11)パワステブラケット及びパワステタンクを元の位置に取付けてください。



取付け作業終了後、必ず取扱説明書の「取付け後の確認」に従って確認作業を行なってください。

取扱説明書の「取付け後の確認」に従って確認作業を行なった後、ブースト圧が34KPa(0.35kgf/cm²)以下であることをメータなどで確認をしてください。ブースト圧が低すぎる場合は、ターボチャージャAssyのアクチュエータのターンバックルを以下の手順で締込んで調整してください。(図4-5)

- 1.Eリングを取外す
- 2.ロックナットを緩める
- 3.ターンバックルを締込む
- 4.ロックナットを締めて固定する
- 5.Eリングを取付ける
・Eリング (P33×1)



アドバイス

- ・HKS EVCを使用することにより、ブースト圧の調整が室内で容易に行なうことができます。

⚠ 注意

ターンバックルは締込み過ぎないでください。ブースト圧の制御ができなくなり、エンジンを破損する恐れがあります。